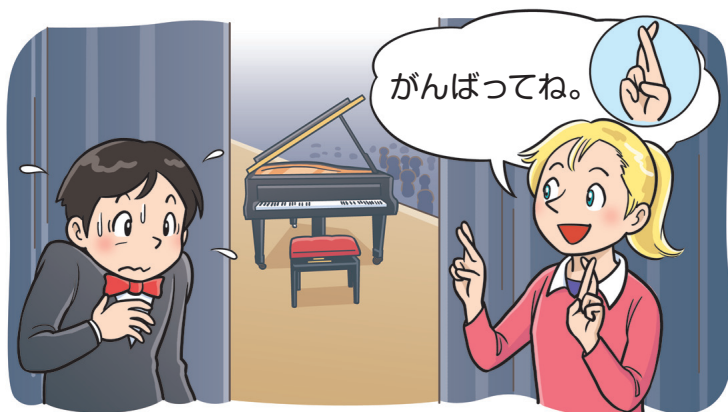


ジェスチャーを使ってみよう

年	組
名前	

わたしたちは相手に何かを伝えたいときに言葉だけではなく、身ぶり手ぶりでも伝えようとしますね。このしぐさのことを「ジェスチャー (gesture)」といいます。

世界ではいろいろなジェスチャーが使われています。日本と同じしぐさでも全くちがう意味を持つものや、文化によって独特のものがあります。今回は、イギリスやアメリカなどの英語を主に話す国でよく使われるジェスチャーをしょうかします。



いろいろなジェスチャー

「がんばってね」

人さし指と中指をクロスさせて、相手に向けます。



⇒「幸運をおいのります」という意味で、「うまくいきますように」と相手や自分をはげますときなどに使います。

「わたし」

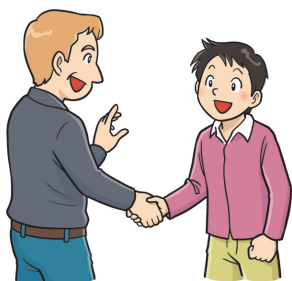
「わたし」と自分をさすときはむねに手を置きます。



⇒日本では人さし指で鼻をさして「わたし」を表すことが多いですが、外国では「鼻」の意味になります。

「はじめまして」

初めて会った人とあいさつするときは、相手と目を合わせながらあく手をします。



⇒日本ではおじぎをしますが、外国ではふつうあく手をします。しっかり相手と目を合わせましょう。

「だめだよ」

人さし指を立てて左右に数回ふります。



⇒「だめだよ」と相手を注意したり、ちゅう告したりするときに使います。

使わない方がよいジェスチャー



日本ではよく使われるけれど、英語を主に話す国では意味をごかいされるジェスチャーがあります。使い方に注意しましょう。ちがいを覚えておくとよいですね。

ピースサイン

ピースサインは本来勝利や平和を表すサインですが、人に手のこうを向けてピースサインをすることはとても失礼とされています。



「こっちに来て」

てのひらを下にした手招きは「あっちに行って」という意味にとられます。てのひらを上に向けて指だけ動かしましょう。

